

# 座標データ・画地チェック

2016/09/06  
有限会社ジオ・コーチ・システムズ  
<http://www.geocoach.co.jp/>

## 目次

1. 機能 .....	1
2. 更新記録 .....	2

## 1. 機能

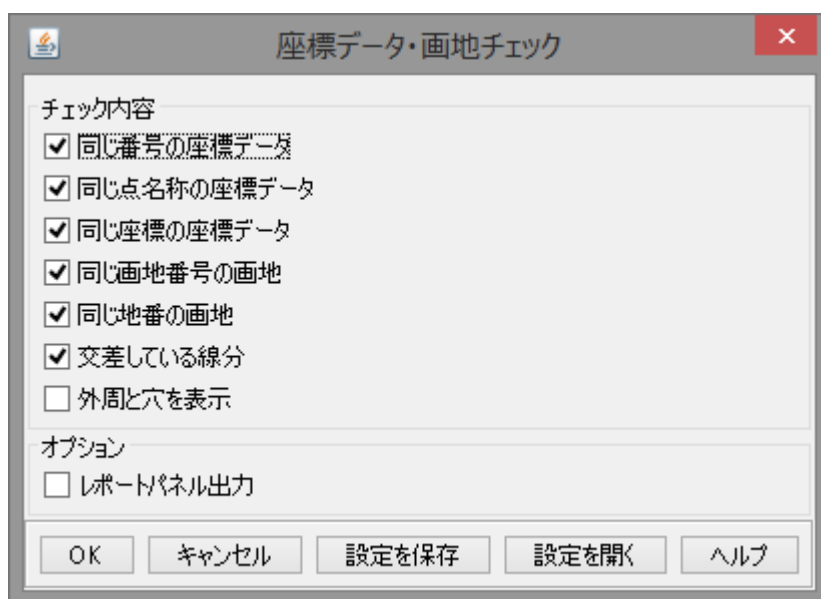
開いて表示している SIMA 共通フォーマットファイルをチェックします。

メニュー

筆・長狭物図形情報ファイル等作成

<http://www.geocoach.co.jp/help/SIMToLF2Dialog.pdf>

で、SIMA 共通フォーマットから地籍フォーマット 2000 を作成するための検査です。



### 交差している線分

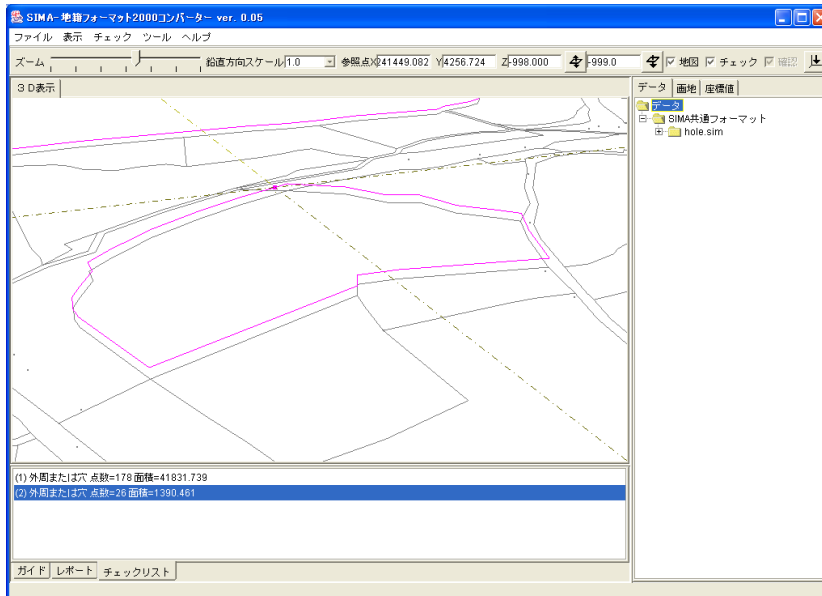
画地の外周線について、他の画地の外周線と交差する箇所を検出します。隣接する画地と線分が重なっているケースや、線分の端点で接している場合は対象外です。

### 外周と穴を表示

画地全体の外周線を表示します。また、外周線の内側で画地が入っていない領域を穴として表示します。何も問題がない場合、外周線がひとつだけ表示されることとなります。この表示は[チェックリスト]の点の表示と連動して、表示非表示が指定でき、[チェックリスト]の更新の際に削除します。[チェックリスト]の点表示と同じマゼンタ色で、画地の線よ

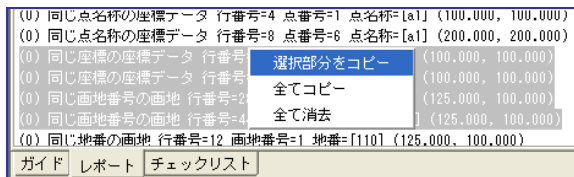
り 1 m 上に表示します。

画地の線が交差している場合は正常に外周線や穴を検出することができません。この場合、「外周あるいは穴の探索で、途中で切れた線」として、同様に表示します。

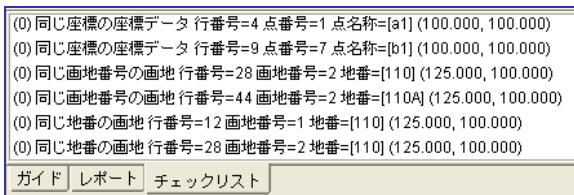


## レポートパネル出力

これを指定すると、同じ内容が[レポート]パネルにも表示されます。[レポート]パネルでは、選択した範囲のテキストをクリップボードにコピーできるので、ノートパッドなどのテキストエディタから印刷することなどができます。



該当するデータが見つかった場合、ファイルでの行番号と関係する情報を[チェックリスト]パネルに表示します。項目を選択すると、該当する箇所を 3D パネル中央に表示します。



ここで、問題が検出された場合、SIMA 共通フォーマットファイルを作成したアプリケーションで修正する必要があります。筆界点と図根点在同一座標にあるなどのケースも検出されますが、この場合、問題ではないので、次の「筆・長狭物図形情報ファイル等作成」へ進めます。

## 2. 更新記録

2016/09/06

✓この説明書を作成